

**公益財団法人鳥取県スポーツ協会 中・長期基本計画
(2021年度から2025年度)**



2021年3月

公益財団法人鳥取県スポーツ協会

公益財団法人鳥取県スポーツ協会

目 次

第1章 概 要

- 1 趣 旨
- 2 目 的
- 3 事業目的
- 4 計画期間

第2章 基本施策

- 1 競技スポーツの推進
 - (1) アスリートの発掘・育成
 - (2) 指導者の育成
 - (3) スポーツ環境の整備
 - (4) コンプライアンスの徹底
- 2 生涯スポーツの推進
 - (1) スポーツ活動の啓発
 - (2) スポーツ活動の環境づくり
 - (3) 地域におけるスポーツクラブの活動推進

第3章 まとめ

第1章 概要

1 趣 旨

スポーツ基本法及び鳥取県スポーツ推進計画（2019～2023）～スポーツでつむぐ絆と輝く未来、元気いっぱいの鳥取県～の趣旨を踏まえ、公益財団法人鳥取県スポーツ協会が2021年度から2025年度までの5年間で計画的に取り組む施策について示したものである。

2 目 的

鳥取県内のスポーツの競技力向上、生涯スポーツ・レクリエーション活動の推進、文化活動・地域産業の振興に資する事業を行うことで、県民のスポーツに対する意識の高揚を図るとともに、健康で文化的な県民生活の向上と地域産業の発展に寄与することを目的とする。

3 事業目的

- 1 国民体育大会・中国ブロック大会等の各種スポーツ大会に関すること。
- 2 県民スポーツ振興に関する各種表彰・顕彰事業を実施すること。
- 3 県民スポーツ、文化及び産業の振興を促進するための施設管理及び貸与を実施すること。
- 4 スポーツの普及、競技力の向上、生涯スポーツの推進及びスポーツ環境の整備等に関すること。
- 5 スポーツ指導者を育成すること。
- 6 地域スポーツ組織の基盤整備及び地域スポーツクラブの育成・支援に関すること。
- 7 スポーツ少年団をはじめ青少年スポーツの育成に関すること。
- 8 この法人が実施する各種スポーツ振興事業をはじめ、スポーツに関する普及啓発を図るための広報並びに情報提供を実施すること。

4 計画期間

2021年度を初年度とし、2025年度までの5年間の計画を策定する。

第2章 基本施策

1 競技スポーツの推進

本県では、鳥取県スポーツ推進計画により、国民体育大会において安定的な成果※の確保を目指している。そのため、国民体育大会をはじめとする全国大会や国際競技大会で活躍する本県及び本県出身のトップアスリートを育成支援する。

そして、スポーツの力で県民に誇りと元気を与えることができるよう、クリーンでフェアなスポーツを推進する。

※安定的な成果とは

総合成績：30位台

入賞競技数：20、入賞種目数：50、優勝種目数：10、入賞者：延べ120人

(1) アスリートの発掘・育成

施策目標

スポーツに興味をもつ子どもを一人でも多く発掘し、ジュニア育成へとつなげ、さらに一貫指導体制の定着とトップアスリートの発掘・育成・強化を図る。

国民体育大会をはじめとする全国大会等において成年競技者の成績向上を図るとともに、全国レベルで優秀な成績を収めているトップアスリートを確保する。

現状等

2033年に本県で開催を予定している国民スポーツ大会（2巡目国体）に向けて、人口最小県である鳥取県ではジュニア期から中長期的な観点でアスリートの発掘・育成が必要である。

また毎年開催される国民体育大会において、男女総合成績30位台の安定的な成果が求められている。

そのためにも、ジュニア期からの一貫指導により、成年競技者までの育成を図るとともに、新たなアスリートの発掘によるトップアスリートの確保が必要である。

施策概要

- ①ジュニアアスリートの発掘の推進
- ②ジュニア期の指導体制の充実とジュニアアスリートの養成
- ③成年競技者の育成強化
- ④トップアスリートの雇用の確保

具体的取組

- 小学生を対象にスポーツに触れる機会を提供し、夢や希望をもつ子どもたちの健全な育成を図る。
- ジュニア期の指導に携わる指導者が一堂に会した講習会を開催し、小・中・高の連携した指導方針、発達段階に応じた指導者の役割や強化方針について共通理解を図り、指導者資質の向上を図る。
- 鳥取県が認定する鳥取ジュニアアスリートに対して集中的な強化事業を展開する。
- 大学運動部や社会人クラブチームに支援し、成年層の強化を図る。
- 優秀な選手の雇用確保に向けて、企業等を支援する。

(2) 指導者の育成

施策目標

全国トップレベルの指導実践を学ぶ機会を支援し、指導体制の強化を図る。また新たな選手強化の中心となる若手指導者の育成及び支援を進める。

現状等

優秀なアスリートの育成には、優秀な指導者の存在が必要不可欠であり、2033年に本県で開催予定の国民スポーツ大会（2巡目国体）を見据えると公認スポーツ指導者

資格を有した若手指導者の育成が急務である。

また優秀な指導者を確保するとともに、地域人材も活用し、充実した指導体制が求められる。

施策概要

- ①指導者への育成支援
- ②公認スポーツ指導者の養成
- ③指導者の確保
- ④地域人材の活用

具体的取組

- 全国トップレベルの指導者のもとに派遣、または県外優秀指導者の招聘を行い、指導者育成及び指導体制の充実を図る。
- 公認スポーツ指導者資格の取得を目指す指導者を支援し、指導者の更なる資質向上を促す。
- 県スポーツ協会の体育指導員や私立学校の教員として優秀な指導者を確保し、強化指導体制の充実を支援する。
- 優秀な成績を収める高等学校運動部において、専門的な指導を提供するため、優れた人材の活用を支援する。

(3) スポーツ環境の整備

施策目標

アスリートが最大限の力を発揮できるようスポーツ環境を整備し、スポーツ医・科学も積極的に活用するサポート体制も整える。

現状等

効果的に競技力を向上させるためには、強化に係る備品や練習環境などの整備は必須

である。

またトップアスリートの高度なパフォーマンスを支えるためには、スポーツ医・科学的支援が必要であり、サポート体制を整えていく必要がある。

人口が最も少ない本県では、スポーツ関係者が“チーム鳥取“として一丸となって競技力の向上に取り組んでいく必要がある。

施策概要

- ①競技体制の強化及び競技環境の条件整備の充実
- ②スポーツ医・科学サポートの確立
- ③スポーツ関係団体との連携強化

具体的取組

- 国民体育大会をはじめとする全国大会等で本県のアスリートが活躍できるよう、合宿や遠征等に要する経費を支援する。
- 競技の特殊性を考慮し、必要な備品や消耗品等を整備できるよう支援する。
- ジュニアクラブチーム、鳥取県中学校体育連盟及び高等学校運動部活動について積極的な支援を行う。
- アスリートが安心して競技に専念できるよう安全体制を確保する。
- 筋力トレーニングの充実と、医事・栄養指導を含めトータルサポート体制を整え、選手の傷害防止や栄養管理に対する意識を高める。
- 競技力の向上に向けて、各競技団体との協議会やヒアリングを実施し、効果的な取組となるよう連携を強化する。

(4) コンプライアンスの徹底

施策目標

スポーツをする、見る、支える全ての人々が、気持ちよくスポーツに関わることがで

きるようクリーンなスポーツの推進を目指す。

現状等

昨今、アスリートによる法令違反や違法賭博、ドーピングなどスポーツの魅力を損なう事例が問題となっている。

本県においても、スポーツが持つ力で県民に勇気と希望を与えるため、スポーツの透明性や公正・公平性を確保するとともに、各競技団体のガバナンスを強化しなければならない。

施策概要

- ①指導者の意識改革の推進
- ②スポーツ団体の組織運営の強化と透明性の向上
- ③アンチ・ドーピング教育の充実
- ④コンプライアンスに関する相談ができる体制づくりの推進

具体的取組

- 体罰やハラスメントなど、不適切な行為を行わないよう、高い倫理観や規律意識を備え、アスリートに指導・教育することができる指導者の養成を推進する。
- スポーツ団体間の情報を共有するとともに、優れた取組や不適切事例を共有できるよう推進し、スポーツ団体のガバナンス強化を図る。
- 県内のスポーツファーマシストと協力しながら、スポーツ団体などを通じてアスリートや指導者に対し、アンチ・ドーピング教育を推進する。

2 生涯スポーツの推進

全ての県民がそれぞれの年齢や体力、技術、興味、目的に応じて、いつでも、どこでも、いつまでもスポーツに親しむことができる生涯スポーツの社会を目指す。

(1) スポーツ活動の啓発

施策目標

ライフステージに応じ、県民の誰もがスポーツに親しむ機会をつくることにより、生涯にわたってスポーツを楽しむことのできる社会を目指す。

現状等

鳥取県が2018年度に実施した「県民の運動・スポーツに関する意識・実態調査」によると、本県のスポーツ実施率は、週1回以上が47.2%、週3回以上が23.2%であり、全国（それぞれ51.5%、26.0%）と比較して低い傾向にある。日常的な運動習慣を身につけることが重要である。

施策概要

- ①子どもの運動習慣づくりへの支援
- ②様々な運動やスポーツに親しむ機会づくりの支援
- ③運動やスポーツへの興味や関心を高める支援

具体的取組

- 子育て世代を中心として、親子で運動、スポーツを親しむ機会を提供する。
- 地域のスポーツクラブやスポーツ少年団の活動において、各団体との連携強化に努め心身の健全育成に向けた取組を推奨する。
- 年齢や性別、障がいの有無にかかわらず、すべての人が気軽にスポーツを楽しむ機会を提供する。
- 本県出身の選手や本県にゆかりのある選手に関する展示物を掲示等することによ

り、スポーツへの興味・関心を高める。

- 県内スポーツ施設、スポーツイベント等を広く県民に周知できるシステムを運用する。

(2) スポーツ活動の環境づくり

施策目標

スポーツ参加を促進するための環境を整備することにより、県民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができる社会を目指す。

現状等

生涯スポーツは、一般に競技スポーツよりも運動強度が低いのが特徴で、既存のスポーツに加えて、体力に過剰な負荷をかけることなく、誰でもいつでも気軽に楽しむことができる。

施策概要

- ① 県民スポーツ・レクリエーション祭の開催と充実
- ② 多様化するニーズに対応した人材の育成
- ③ 広域スポーツセンター機能の充実
- ④ スポーツ交流の充実
- ⑤ 安心安全なスポーツ環境づくり

具体的取組

- 県民の多くの参加が得られ、生涯スポーツの促進につながるよう、県民スポーツ・レクリエーション祭を開催し、その内容の一層の充実を図る。
- スポーツ指導者の研修会を充実させ、指導者の資質向上を図る。
- 県民のスポーツに係る相談・支援窓口である「とっとり広域スポーツセンター」の機能を充実させ、誰もが参加できるスポーツイベントの開催や交流大会の企画・運

営など積極的に取り組む。

- 江原道との協定に基づき、スポーツ交流を行い、友好親善を図る。
- 本県のスポーツの発展に功績のあった者、優秀な選手を育成した指導者、全国大会等で優秀な成績を収めた選手等を表彰する。
- スポーツ安全保険への加入を推奨することにより、安心してスポーツ活動ができる環境を整える。
- 鳥取県及び米子市から受託している指定管理施設を円滑に管理運営し、快適な施設環境をつくる。

(3) 地域におけるスポーツクラブの活動推進

施策目標

地域の住民が主体的に参加し、スポーツ活動を行うスポーツクラブの活動を推進することで、身近で気軽にスポーツを楽しむことができる環境づくりや地域の発展、活性化を目指す。

現状等

総合型地域スポーツクラブの会員はもとより、広く地域住民が主体的に取り組むスポーツ活動を推進することにより、スポーツを通じての地域交流を発展させることが望まれる。また、クラブが所在する市町村との連携強化も必要である。

施策概要

- ①地域住民が主体的にスポーツに参加できる取組の支援
- ②スポーツクラブの育成支援
- ③地域の課題解決に向けた取組の推進

具体的取組

- 総合型地域スポーツクラブなど、地域の住民が主体的に行うスポーツイベントや

スポーツ教室の開催を促進する。

- 資格を有するスポーツ指導者など質の高いスポーツ指導者を広域スポーツセンターに配置したり、指導者研修会を充実したりするなど、地域のニーズに即した人材確保、活用方策を検討する。
- 地域におけるスポーツ活動の中から潜在的な能力のある次世代アスリートを発掘・育成する体制の整備に努める。
- 優れたスポーツ指導者やスポーツ推進委員等を活用した総合型スポーツクラブの活動を支援する。
- 総合型地域スポーツクラブ連絡協議会と連携し、クラブ間の情報共有やスポーツ交流大会を充実・促進する。

第3章 まとめ

本計画は鳥取県、各競技団体をはじめとする関係団体及び市町村等と連携を図りながら、効果的な実施方法等について、検討を行っていき、さらなる充実を図ります。

本計画は、様々な分野の方々のご意見をいただきながら、より良い計画となるよう検討を重ねていきます。

県民の皆様のスポーツに対する意識の高揚を図るとともに、健康で文化的な県民生活の向上と地域産業の発展に寄与いたします。